

(様式1)

令和 年度 特別の教育課程 編成・実施計画

学校名	
学校長	
提出日	

指導内容：①生活のための日本語、②日本語基礎、③技能別日本語、④日本語プロジェクト、⑤その他

No.	学年	生徒氏名	指導内容					指導時間	指導形態	認定 単位数 (予定)	指導者
			①	②	③	④	⑤その他	指導期間			
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

【備考欄】

- ①「生活のための日本語」  
日本での学校・社会生活を送れるようにするために必要な日本語の語彙・表現を学ぶプログラム
- ②「日本語基礎」  
日本語の基礎的な構造・意味・機能を理解し、生活場面や学習場面で運用できるようになるプログラム
- ③「技能別日本語」  
「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の力を高めるプログラム
- ④「日本語プロジェクト」  
課題解決活動(プロジェクト)を通して、思考判断表現する力を高めるプログラム

(様式2)

令和 年度 特別の教育課程編成・実施報告

学校名	
学校長	
提出日	

指導内容 : ①サバイバル日本語、②日本語基礎、③技能別日本語、④日本語と教科の統合学習、⑤教科の補習

No.	学年	生徒氏名	指導内容							指導時間	指導形態	認定 単位数	指導者
			学習段階	①	②	③	④	⑤	その他				
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													

【備考欄】

(様式1)

記入例

令和 年度 特別の教育課程 編成・実施計画

この様式例にこだわることなく、従来の名簿等を適宜改良して活用することも考えられる。

学校名	群馬県立〇〇高等学校
学校長	〇〇 〇〇
提出日	令和〇年 〇月 〇〇日

指導内容：①生活のための日本語、②日本語基礎、③技能別日本語、④日本語プロジェクト、⑤その他

No.	学年	生徒氏名	指導内容					指導時間	指導形態	認定 単位数 (予定)	指導者
			①	②	③	④	⑤その他				
1	1	〇〇 〇〇	○	○				週1時間 個別指導	R6.6/〇〇~R7.3/〇〇	2	〇〇
2	1	〇〇 〇〇			○	○		週2時間 個別指導、グループ指導		3	〇〇
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

本計画書を提出した後も、「個別の教育課程」による指導を新たに始める生徒がいたり、途中で指導を終了する生徒がいたりした場合には、適宜追加・修正を行う。

【備考欄】

- ①「生活のための日本語」  
日本での学校・社会生活を送れるようにするために必要な日本語の語彙・表現を学ぶプログラム
- ②「日本語基礎」  
日本語の基礎的な構造・意味・機能を理解し、生活場面や学習場面で運用できるようになるプログラム
- ③「技能別日本語」  
「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の力を高めるプログラム
- ④「日本語プロジェクト」  
課題解決活動(プロジェクト)を通して、思考判断表現する力を高めるプログラム

(様式2)

記入例

令和 年度 特別の教育課程編成・実施報告

この様式例にこだわることなく、従来の名簿等を適宜改良して活用することも考えられ

学校名	群馬県立〇〇高等学校
学校長	〇〇 〇〇
提出日	令和〇年 〇月 〇〇日

指導内容：①生活のための日本語、②日本語基礎、③技能別日本語、④日本語プロジェクト、⑤その他

No.	学年	生徒氏名	指導内容					指導時間	指導形態	認定 単位数	指導者
			①	②	③	④	⑤その他				
1	1	〇〇 〇〇	○	○				週1時間 個別指導	R6.6/〇〇~R7.3/〇〇	2	〇〇
2	1	〇〇 〇〇			○	○		週2時間 個別指導、グループ指導	R6.6/〇〇~R7.3/〇〇	3	〇〇
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

本計画書を提出した後も、「個別の教育課程」による指導を新たに始める生徒がいたり、途中で指導を終了する生徒がいたりした場合には、適宜追加・修正を行う。

【備考欄】

- ①「生活のための日本語」  
日本での学校・社会生活を送れるようにするために必要な日本語の語彙・表現を学ぶプログラム
- ②「日本語基礎」  
日本語の基礎的な構造・意味・機能を理解し、生活場面や学習場面で運用できるようになるプログラム
- ③「技能別日本語」  
「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の力を高めるプログラム
- ④「日本語プロジェクト」  
課題解決活動(プロジェクト)を通して、思考判断表現する力を高めるプログラム